納めました

厚く御礼申上げます

から暮にかけて

が、一部滯納者のため大部分の町

皆様の御協力により

道路復興宝くじ』は

百%消化の好成績を

金米だよりは毎月一回発行

赤字財政も今一歩で解消され、全一務局及びその他の関係官庁から勧

る良好な成績を收めて当町の一の結果がでており、なお大蔵省財一す。

約七〇%の『強制執行やむなし』

ら御協力下さるよう切望いたしま

ことから、税完納者からも非常な

役場への電話は

次の番号へ

(経済、財政)



脱却して、新生日本の輝かしい第

って昨年の町行政をふりかえつ

みれば、保育所の設置、小中学

金木町長

田・もとが

員会の設立、金木高等学校の独立 公園ほか区有地の町移管、水害、

変電所の誘置完成、金木車力間の

苦しい町財政ではありましたがど 割当を見事完納するなど町民各位一などのことがあり、さらにまた今 バスの開通、「田橋一神原(旧十 川川尻まで)築堤工事、更に十一

間として、各位一営にプレーキをかけているような「ら二月十五日の間を『町税滯納整 協
滯納整理を実
一不平があり、過般の世論調査にも
ることに**なり**決定いたしましたか に俟つてきたのでありますが、税 の公平を期するため一月二十日か 確立こそ必須条件であると考えて 期解決処理には挙町一致事に当ら に防火施設の補職拡充等の諸問題

我が町は昭和二十四年小学校女舎

御理解と一層の御協力をお願い申 い年であることをお祈りして年頭 本年は終戦後最大の苦難の年では しかしながら諸般の情勢からみて

金木町広報委員会発足

市町村における広報活動、それは 報委員会」を設置しました。 形成させると共に町民の信頼と理 服後、上下からくる宣伝通報の考 るものであつて、眞実性のない通

ありますが、これはつぎのような 営を推進させる手段となるべきも 民主々義の三原則である『中島意

グループに分けることができょす

するのか主なるものをつぎにあげ 引幕、文書、アドバルーン、パ 映画、絵画、写真、展示、看板

本字 (以下同じ) をしました 現在利用しているものには 笠木だより編集係 工藤

報は広報にあらずして宣伝または 謹

関係上、教育委員会とは密接な連

教育委員会の社会教育面の仕事と

どしどし御投書下さい

るための一部改正(原案可決)。

金木町消防團

長 中村美智雄

外團員一同

父書を第一課で処

当り横の連絡

叢 長 白川彌太郎

外議員一同

した)を緊密にす

注して町のみなさまとともに歩む

川倉白金商店前

小川町郵便函横

費田田中商店前

費用弁償条例設定について 、金木町教育委員会の報酬及び

金木町固定資產評價署查委員会

委員長 山田勝太郎

外委員一同

寺町高元吳服店標

の一部改正案に基く通達に依り

公平委員

芳賀

忠一 健吉

鳴海

国家公務員の給与に関する法律

について の給与に関する条

增額改正(原案可決)

金木駅入口

委員 葛西雪丸、高橋元彌、中公 金木町廣報委員会 金四般、山田勝見、山口常守、

強行整理期間に入るので、その実 差押処分講習会開く

『ひば』の美林を有 地とし金木原野の美田化を計画し 米の集散地として早くから知られ ているわが町の農業も、岩木川の

化と電源の獲得は、夢ならぬ現実 努力したならば、金木原野の水田 ていた故人津島元吉氏等の計画を

これがためには何んとしても、時

視聴覚に訴えるもの または屋内放送、ラウドスピー 映画、演劇、幻燈、 見下座談会、討論会等を実

なお附近町村役場職員の希望者を

として弘前相互銀行社長唐牛敏

三活困窮者給与費 一母の会より寄附

体納の件(原案可

险置条例中一部改

金木町議会

受講させることになってい

町民の声を聞く 投書函を備付け 会、ラジオ、放送自動車、街頭

・氏を講師にまねき十六日から三日 間差押え処分要領についての講習

行事費用として

講演会、説明会、座談会、

紙芝居、

用して実施しますが、予算面から どんなことでもよろしゆう御座 ききするつもりで御座います。 を常時備付け、皆様の『声』をお 一局では近く次の箇所に 投書籍

年

時

町 護

昭和二十七年十二月

、職員団体の登録に関する条例

様で原案可決

金木町選挙管理委員会

委員長 白川 常英

外委員一同

円、費用弁償額は町議会議員同

りその額は委員の報酬月額一千 教育委員会設置に依る条例であ

金木町護事堂

する条文(私的契約・児童の入 児童福祉法に基く措置、 金木町保育所設置条例中

六大、五六円

金木町民生(兒童)委員

委員長、沢田繁太郎

外委員一同

金木町農業委員会

長 田中 國吉

外委員一同

一、二十七年度金木町륋入蒙田追

条例(原案可决)

は県知事宛提出したものを町村

金木町教育委員会

委員長福士

外委員一同

の改正に依り從来

である第二の『子弟の教育』を町 教育水準を中央並に向上させる計 私もこのことについて、県全体の が、町自体としては一日も早く県 の理由からである。当町の中、小 下の優秀職員を招く態勢を整える 子生の学力程度は、県の水準には 町民稅、平衡交付金、国、県補 助金支出の主なるもの 役場費、教育費、農業委員会費 六七六、五三六円

金木町保育所運営委員会

委員長 木村 清日

外委員一同

損をする牛馬の籍 届けなければ六千円

域後に『和合』と『子弟の教育』 牛や馬を所有していながらその籍 から一月末日まで必らずお届け下 さい。牛馬一頭の控除が認められ 一月の農家の所得税確定申告の際 とになりますから何 于円程度の稳金を多 ている旨を記入して 方は、申告書に現在 除は認められません 金木町行政出納監查委員

白川 津島 英治

愼一

町稅完納促進運動 わが幸と思いば軽し町の税 納めて築こう楽しい町に 入選標語 金小六年 松山 書 金小六年 阿部ひろ子

收役 小野 四郎 製 白川 保育所職員一同 役場職員一同 花田 常英

23

強制執行やむなし

待さ れる今後の 活

とにつきましては深甚なる敬意と 一分』断行やむなき状態に至つた旨 満腔の謝意を表するものでありま

を残しは致しましたものの、さて 決しなければならないものは 保育所及び町営住宅の新築間

金米川護岸工事の完成促進

5、県営拝洲地区排水ボンプ設置

離れないことでしよう。 金木町は私の念頭からは 私の家族のことと共

一に和合であるといいたい

北十三村までを結びつけた。曲の 第一の『和合』による発展 する喜良市、川倉)の水田化とい 更に金木原野(大東ケ丘を基点と また『かめ』七輪、すり鉢等に適

計御指導を仰ぎながら対談する機

るようだがそれも当らないと思う

の昭和二十八年度の町政の構想

たりして終始上気嫌だつた知事

町の建設発展に力を注いだならば

この言葉も近い将来には全く耳に

田町長が自宅に訪問し、昭和二十

当を得てない言葉だと思う

の年頭

私は金木を離れて今年で八年自に

髪る前には

必ず火元を

点験しましよう

『金木は十年一日のごとく、全く

は生涯線を切りたくないという考

であろう?それが先決は三〇〇町 催漑するダムの適地の問題が

売吉、中村健輔

ためるな譜額、納めよ税金

一金三千円也保育所クリスマス 謹 金木町長 賀

いて

新

年

お参考の資料として特賞の船越 氏(育郡尾上町)及び技術優良

載する。(写真は白川竹治氏)

与式において、一年間の労苦が暴

「第四回米増收共進会「提賞授」 日青森市湾防会館で行

(正賞知事賞、圓賞北海加工

專念

白川竹治氏

一、レクリエーション大会

在はこういうものは何もありま

出していたと承わつておりま が、町当局で何か考えておら

には少し触れておりますが、二 年頭の辞でこのことについ

保 育 所 の ク IJ ス 7



一、試験場及び観光地見学

、ロ・ロ・T撒布 五月上旬

一、神社及び墓地の整備月一回

道路整備 月一回

【写真】=サンタの数

三月の増は出稼ぎが原因。 で、公 ス ②土、日曜日、 ●五月は花見時で特別であるがれ 閑期であることが主なる原因で

はあるが町全体からみて芦野公園

公園の美化を図るとともに観光 公園駅の廃止論より、なお一層 客を町内に誘引すべく別になん

から贈物を戴いて喜んでいる

、非、圆語

内におけ

展り

野公園駅の乘降

六、十、十一月の減は慶繁

三三三 HOOM

保証する規定を新たに設け、これ 想していたが、藤枝の一名という 農繁期であつたため駅前、 藤田、川倉の回答者の少いのは予 新憲法は地方団体に 慶枝、 対してはどうすればよいか」とい 質問事項としては『町税滯納者』 『町税について』 納めている

▲『差押処分はした

納めていない者

一二三名(四二・七% 五二名(五七・三%)

者の中の一二六名(約八二%)が

納めていない者

が地方自治法の制定となつてあら

1、差押処分をした方がよい 『町税滯納者に対してはどうすれ

男

三十歲

をつくり、小鳥やお複さん等も 少しはよかつたと思いますが、 飼っていましたから、今より 以前は津鉄で滑台、ブランコ等

ことを申さないで、もつともつ えない状態です。そんなひどい

習品評会を開催し | 少社の角田教諭の指導のもとに理

おいてホーム・プ 胎として培われるとの見地の下に

万民の認識を新た一学クラブの活躍も俄然活発になつ

ともに、郷土出身

まんが募集

を学校長に迎え、

積極性をモツト

した。

ねての研究を発表

ジエクト研究発表」なお地方有識者各位の一層の御鞭 歌学校における県 一理化展はその一端の現れであり、 の四年生小寺吉次一ている。今回の観覧会場における

撻をお願いする次第です。

係

特に目ざましきものはスポーツ方 金木高等学校の卷 弁大会を開催した。その他同好の

> 竟科学的精神を母 行われることにな

> > ~は、内容は町政面からみで変

設的なものでユーモアに富

く、予算の都合で『有難うご

んだもの。

がまんして下さい。 ざいます』のお礼の言葉で

西北南定時制高校綜合体育大会に

クラブ、郵便友の会グラブ等があ

女生徒による茶華部は、金木婦人 り、生徒間の情操陶治に努めてい

今月の記

研讃を積み、本山文化の日をト

同の運動会を芦野グランドにおい

も継続してゆくものと思われる。 望から農研クラブの充実は今後と

十二月二十五日 大東ケ丘分校四 十二月二十三日 臨時町議会

名刺交换会

れる係員たち 昼夜の別なく徴收

十月七甲

選挙管理委員会

一月六日 一月五日

広報委員会 教育委員会

け差押処分をした方がよい 一八六名(七〇·一%) 二九名(一一・〇%) ン(男)二十四歳 二、三紹介してみる 町政について御意見 傍廳は現在の役場二 ところ次のようなの Ill Mine out Ill Mine on

一一四名 二、町議会がいつあるのか不明の のもこんなところに原因がある ろうか。事件だけに耳を動かす 度が冷いのではなか 政治的な面に対して 。町議会の動きが判

に 導いて ゆくことが必 し動くからこれを一歩 が強い。そして闘争心一一、町税の大口滯納者を断呼差押 特だ。 らうだが、部落感情、 そうでありまた協力 規の事業は中止のこと。 処分に付すること 農業男

世論調査のついでに一不明朗な国民健康保険の廃止と参 税町理事者の責任において支払う 小生も被給付金者であるが、給付 が担任職員に来ている筈)につい の不德のみ責めることは納得がい ては一言の釈明もなく町税滯納者 べき国保給付金(県から支払令書

金相当額の町税は納めないつもり でいる。

一、町税漕納者の氏名及び金額を 二、町財政が黑字になるまでは新 公表してもらいたい。 商業 男 四十八歳

二、理事者の若き情熱により型式 小者を幾ら餐促しても大したこ よりも英断をもつてすることを とはない筈だ。 五十四歲

24

回答率は三割位だろうと予想して

一二名

の『こころみ』でも

◎回答者を職業別にあげれば次の

事して来たもの。また篤農家とし

員二十五名が角田さんを囲んで懇

角田さんは昭和五年農林、水産業

調査員になって以来今年まで二十

上業、商業、国勢などの願査に從 一年間に亘り世界農業センサス、

江市特産の袖師焼花瓶を贈られた

加計大会で財団法人全国統計協会

合きに推薦七カ年経歴、大正五年

端町角田亮吉さん(今)は過日島

明治四十一年金木町省防団へ入団

面委員拝命九カ年、昭和五年農林

回

おいては、民衆

箇所別にあげてみればつぎの通り 二六五名の回答者を投書函の補付

本調査は世帯主を対象にした関係 上女の回答者が少かつたけれど、

っ方式になつているのであるが、

の内訳はつぎの通り

納めていない者

の自主的な運営に必要な財源の確

決定するといわ

寺町

を得るようお願いするつもりでい

次回の調査には女の方にも御協力

様がどんな風に考えているかを測

だけ差押処分をした方がよい』

も困つている町税について町の皆

賈拝命四期、大正五年金木町方

一表彰、大正八年金木町農会評

川端町の角亮さん表彰

一月十七日男十七名、女十一名計

五十を植えた。なおクラブの事業

半数

の回答

we we we

從事

部落だより

一十八名でもつて『蒔田4日クラ

かりいいしん

金木駅の乘降客

がりの政治には必ず